

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	田嶋弘之
	全体計画						経費区分		経常的経費		内線	3423
事務事業名	4178 勤労者福祉事業											
所 属	150200 産業振興部・産業連携開発課											
施 策	05052900 労働環境の整備と勤労者福祉の増進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	050102 労働費・労働諸費・労働諸費										
	事業	010000 勤労者福祉事業										
事業目的						事業概要・効果						
<p>勤労者が生き生きと働き、実りある生活ができるよう、福祉の向上を図る。労働条件・労働環境を正しく把握し、勤労者福祉や雇用促進施策に反映させる。</p>						<p>勤労者生活資金の融資幹旋及び利子補給、中小企業退職金共済加入奨励補助、勤労者住宅建設資金融資利子補給等を実施し、勤労者福祉の増進を図る。</p> <p>駅前自転車駐車場の管理について、関係機関と協力・連携をしながら整理・防犯に努める。自転車駐輪場の課題解決に向け、利用団体が連携して検討・活動をしている。効果として、各種補助制度の充実・自転車駐車場の整備をはじめとした、勤労者がいきいきと働き実りある人生を送るための条件整備がされることで、住みやすく働きやすい環境となり、市の活力の維持増進が図られることが期待される。</p>						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
1 勤労者生活資金（預託、利子補給）、2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金、3 勤労者資金融資保証料補給金、4 中小企業退職金共済加入奨励補助金、5 自転車駐車場、6 労働団体との連絡調整、7 長野県賃金実態調査	1 勤労者生活資金（預託、利子補給）、2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金、3 勤労者資金融資保証料補給金、4 中小企業退職金共済加入奨励補助金、5 自転車駐車場、6 労働団体との連絡調整、7 長野県賃金実態調査
平成29年度 実績	平成30年度 実績
1 勤労者生活資金（預託、利子補給）、2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金、3 勤労者資金融資保証料補給金、4 中小企業退職金共済加入奨励補助金、5 自転車駐車場、6 労働団体との連絡調整	1 勤労者生活資金（預託、利子補給）、2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金、3 勤労者資金融資保証料補給金、4 中小企業退職金共済加入奨励補助金、5 自転車駐車場、6 労働団体との連絡調整
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
1 勤労者生活資金（預託、利子補給）、2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金、3 勤労者資金融資保証料補給金、4 中小企業退職金共済加入奨励補助金、5 自転車駐車場、6 労働団体との連絡調整	1 勤労者生活資金（預託、利子補給）、2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金、3 勤労者資金融資保証料補給金、4 中小企業退職金共済加入奨励補助金、5 自転車駐車場、6 労働団体との連絡調整

指標名	須坂市勤労者互助会の会員数				
算式	年度末の会員数で比較する				
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標			1,445	1,460
	実績			1,347	
指標選定の理由	須坂市の勤労者の多くは中小企業で働く者であり、労働条件や福利厚生面で大企業と格差があることから、中小企業の福利厚生を高め、福祉の向上につなげるため。				
最終年度目標の根拠	会員の入脱会が常にある中で、令和2年度に会員数1,460人を目標とした。				
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和2年度 予 算
事業費		128,278	130,620
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	120,000	120,000
一般財源		8,278	10,620
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	嘱託職員	0.5	0.5
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,179.5	2,179.5
	嘱託職員	1,414.5	1,414.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,594.0	3,594.0
市民一人当たりの経費		2.5	2.6
総額		131,872.0	134,214.0

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	355	消耗品35 食糧費13 光熱水費(電気料)161 修繕料12
13節 委託費	870	自転車駐車場管理委託491 放置自転車処理運搬委託19 シルバー人材センター委託332 ごみ処理委託3
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	4,410	会議出席負担金2 各種補助金5,334
その他	122,643	役務費(郵便料)80 貸付金(生活資金預託金)120,000

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	515	消耗品48 光熱水費(電気料)171 修繕料296
12節 委託費	954	自転車駐車場管理委託516 放置自転車処理運搬委託64 シルバー人材センター委託374
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	6,374	会議出席負担金4 各種補助金6,370
その他	122,777	役員費(郵便料)93 貸付金(生活資金預託金)120,000他

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか 	普通
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 互助会の福利厚生の上昇のため、給付事業や納涼会、バスツアー等を企画に対し、互助会のニーズに応えることができた。また、引き続き健康増進のため、健康推進ウォーキングセミナーを開催した。 勤労者が安定して暮らすために必要な施策であり、多くの勤労者に活用いただいている。駅前駐輪場管理も駅利用者の利便性向上と防犯の観点から重要である。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 各種事業や給付事業により、中小企業の福利厚生を高め、福祉の向上につなげることができた。 協調融資は、地域経済活性化も期待できる有効な事業である。 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> バス旅行ツアーや納涼会の参加者からの自己負担の徴収。 勤労者の生活支援のため、ろうきんを通じ、各種融資支援等を着実に実施する必要がある。 	

振り返り(決算年度の取組み課題)

- 勤労者互助会については、会員の高齢化が進んでいるため、若い勤労者の加入促進のため、魅力あるイベントの開催や各種事業の充実を図っていく。
- 駅前駐輪場は、経年劣化等により修繕が必要な箇所が増えている。優先順位をつけ、効率的な予算執行に努めていきたい。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>継続して勤労者支援の各種事業を継続する。勤労者生活資金融資あっせん制度の利用を増やす取り組みが必要。</p> <p>駅前自転車駐車場は計画的な維持修繕を行い長寿命化を図る。</p>		<p>勤労福祉向上のための各種事業を引き続き継続していく。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	